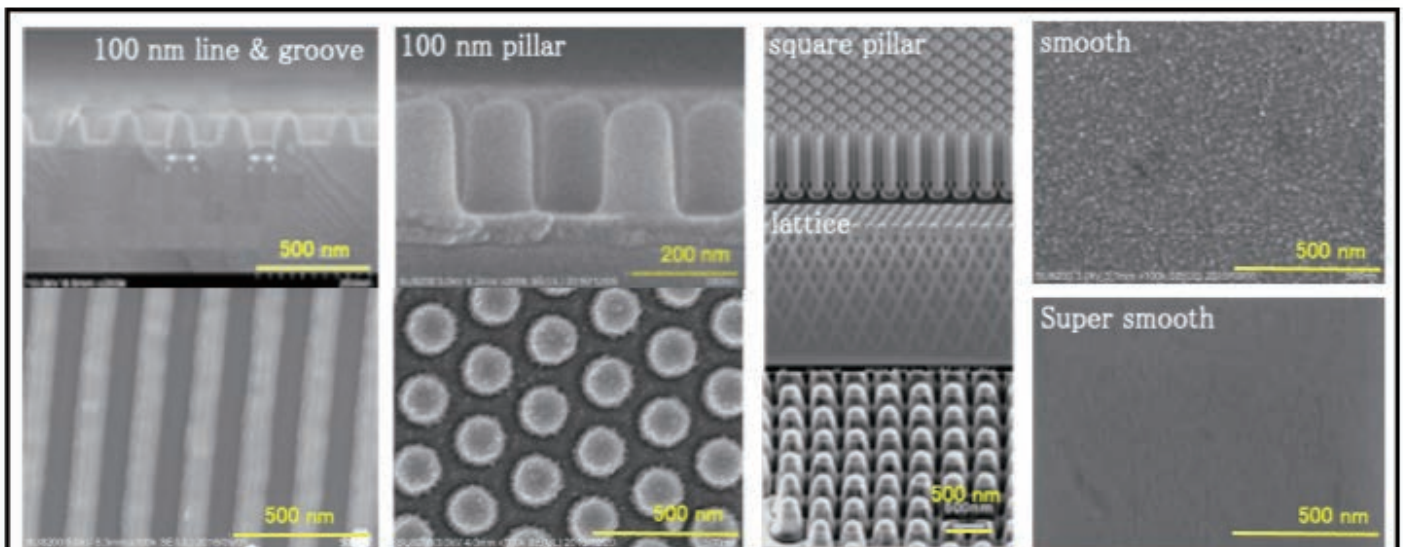




研究 — Research —

「規格化ナノ構造チタンによる骨結合促進機構解明に関する研究」

現在のデンタルインプラントは骨との結合(オッセオインテグレーション)促進を期待して表面が粗面処理されています。しかし、形成される構造はランダムな構造で、どのような構造が細胞の接着や骨形成を促進しているか十分に理解されていません。これまで、チタン表面に数ナノメートルレベルの規格化構造形成を制御することは困難でした。本研究は、早稲田大学ナノ・創新機構との共同研究により、数ナノメートルレベルで制御された規格化構造をチタン表面に形成し、どのような構造が骨結合を促進し得るかを解明しようとする研究です。



チタン表面に形成可能な規格化ナノ構造の一例
(早稲田大学ナノ・ライフ創新機構提供)